

いわた羅針盤

ら しん ばん

No.62

2017.09.01発行

特集

学生から見た議会

静岡産業大学

(後列左から) 増田 翼さん(4年) 芝田直騎さん(2年)

(前列左から) 山下美綺さん(3年) 伊藤優徳さん(3年) 小林祐也さん(4年)



CONTENTS

- P2 特集 学生から見た議会
- P4 6月定例会議案審議
- P6 一般質問 (15人)
- P14 トピックス
インフォメーション
- P16 審議結果 ほか

特集

学生から見た議会

今回の特集は、静岡産業大学で「まちづくり論」を学ぶ大学生5人にお集まりいただき、「学生から見た議会」についてお話を伺いました。
(聞き手：磐田市議会 広報広聴委員)



やました みき
山下美綺さん



しばた なおき
芝田直騎さん

——議員に対するイメージは。

小林 堅い人というイメージがあります。テレビを見てみると、どの人も政策など、いろいろな考えを持っていて真面目な人たちという印象です。

増田 普段の生活の中で話したり、意見を交わしたりすることがまずないので、自分たちとは別の世界の人たちというイメージが強いです。

芝田 普段、何をしているのかわかりませんでした。テレビの報道などで議員の活動を知り、色々な場所に研修へ行くなど、まちづくりのために頑張っているんだと思いました。

——磐田市に対するイメージは。

伊藤 北に行けば獅子ヶ鼻公園があって、南に行けば福田漁港があって、一つの市の中で山から海まで一通り楽しめるものがたくさんあるまちだと思います。

小林 自分は浜松に住んでいますが、磐田はジュビロなどがあり、スポーツが盛んなまちというイメージです。また、バイクに乗ることが好きで、ヤマハ発動機の本社もあり、活発な印象があります。

山下 私は磐田出身で一時期違う市に住んでいたことがありますが、物価が高く、駐車場も有料でした。磐田は、

店や公共施設が安く、恵まれているまちだと思います。

——授業の一環で市議会を傍聴されていますが感想は。

伊藤 磐田に限ったことではありませんが、事前に用意した質問、回答を読んでおり、もっと自由にディスカッションしている部分が見られたと感じました。委員会では違うと思いますので、そういった様子を見る機会が増えればイメージが変わってくると思います。

山下 国会での審議や討論を見ていると、賛成・反対意見で議長のところへ詰め寄ったり、大きな声を出したりするなど白熱した場面を見ます。それに比べると、市議会は決まりを守って粛々と会議が進められている感じがしました。

芝田 市と対立している印象を持っていましたが、議論を聞いているうちに、それぞれの立場で市民のためにやっていることが分かりました。

——どうすれば若い人が選挙に参加しやすくなると思いますか。

伊藤 投票の仕方や期日前投票などを知らない学生もいますので、選挙について学校で学ぶ機会が増えればと思います。また、その人に投票してどう



いとうまさのり
伊藤優徳さん



こばやしゆうや
小林祐也さん



ますだ つばさ
増田 翼さん

なったのか、その後の過程や公約の結果がわかれば参加する人が増えると思います。

増田 どういう人が選挙にでているのかわからないです。ポスター等だけではなく、若い人はSNSをよく見ますので使ってほしいです。選挙広報も、もう少し噛み砕いた内容で記載されていれば目を通す機会も増えるかなと思います。

山下 インターネットで投票できるといいと思います。新聞をとっていないかたり、アパートに選挙広報が配布されなかつたりすると、選挙の内容がわかるものはポスターや選挙カーなど一部の情報しかありません。インターネットをもっと活用できればと思います。

——市議会や行政に希望することは何ですか。

伊藤 磐田市は地域活性化のイベントも盛んに行われ、まちづくりが市民レベルで起こっているすてきなまちだと思います。人や団体、まちづくりといったソフト面の魅力をもっと前面に押し出してほしいです。

小林 大学に入ってから磐田に来るようになったのですが、楽しもうとなったときに、学生が遊べる場所が少ない

のもっと増えればと思います。

増田 沿岸部の津波対策に関して津波避難タワーなど、避難場所がどこなのか、わかりにくいところがあるので、案内表示などがもう少しあればと思います。

——その他にもいろいろなお話を伺いました。今回いただいたご意見を参考に、もっと若者に興味を持ってもらえるよう市議会としても努力してまいります。ご協力いただきありがとうございます。



平成29年
6月
定例会

議案審議

会期 6月12日～7月5日 (24日間)

6月定例会の様子は、インターネットで録画配信しています。

磐田市議会 配信

検索

クリック

今議会では、市長提出の平成29年度一般会計補正予算や卓球場・アーチェリー場建設工事(建築)請負契約の締結など一般議案13件、副市長の選任など人事議案22件のほか、浜岡原子力発電所の再稼働を認めないよう求める請願1件を審議しました。

今回は、その中から3件の内容をお知らせします。

なお、全ての議案の審議結果は最終ページに掲載しています。

請願
第1号

浜岡原子力発電所の再稼働を認めないよう求める請願

賛成少数で
不採択

「浜岡原子力発電所の再稼働を認めないよう求める請願」については、賛成少数のため不採択となりました。

(反対:志・新・き・公 賛成:共・社)

請願者 浜岡原発はいらない

磐田の会

代表世話人

伊藤通玄

代表世話人

野澤正利

外9団体

請願の趣旨

2011年3月11日に発生した東日本原発震災は、世界の人人々に大きな衝撃を与えた。この災害による犠牲者は、震災後6年が経過した現在、震災関連死を含め約2万2千人を記録している。この間、インフラ整備や放射能除染等の大幅な遅れにより、今なお住み慣れた故郷に戻れない被災者は約12万人を数える。浜岡原発で大規模災害が発生すれば、31キロ圏内外で生活する住民が生命の危険にさらされる。こうしたことから、浜岡原発の再稼働を認めないことを決議し、国に意見書または要望書を提出してほしい。

討論がありました

反対 検証材料がない状況で
決議できない

今回の請願書の提出は、浜岡原発周辺11市町が一体となり提出すべきで、本市単独で判断する状況にないと認識する。国ははまだ福島第一原発事故の原因等を検証していない。廃炉か、再稼働かは国が責任を持って判断すべきである。現在、検証材料がない状況で決議できないと判断し、反対する。

志政会 芦川和美 議員

現段階では決議すべきではない

甲状腺がんは、チエルノブイリ原発災害より高い発症率というが、特定のデータに基づく表現は市民の不安をおおいかねない。浜岡原発は新規基準適合性審査を受けている。原子力規制委員会の指摘に対し、調査・検証を行い、対策を進めることを優先すべきだ。現時点では決議すべきでない判断し、反対する。

新磐田加藤文重 議員

賛成 市民の願いを真摯に
受けとめるべき

請願者は、再稼働を認めない署名2万5372筆を提出した。市民の願いを真摯に受けとめるべきだ。反対討論では市民の声が語られていない。福島第一原発事故が収束していない中で、浜岡原発も再稼働の準備が進められている。再稼働を許さないことは住民の命と暮らしを守る上での正念場であり、賛成する。

日本共産党磐田市議団 根津康広 議員

命と暮らしを脅かす再稼働

福島第一原発事故から6年余が経過したが、被災住民の多くが今も厳しい生活を送っている。事故はなぜ起きたのか、今なお原因究明結果は出ていない。本市の地域防災計画では、浜岡原発の防護壁が機能しない場合は、過酷事故が想定されている。私たちの命と暮らしを脅かす再稼働は認められないと考え、賛成する。

社民・明るい暮らしの会 虫生時彦 議員

磐田市渚の交流館条例の一部改正

全会一致で
可決

指定管理者制度導入に向け、業務の範囲、指定管理者の手続き、利用料金等必要な事項を定め、また休館日を変更するために条例を改正しました。

改正の主な内容

- 指定管理者に交流館の管理を行わせることができるようになります。
- 指定管理者が行う業務の範囲を規定しました。
- 利用料金は市長の承認を得て、指定管理者が設定できるようになります。
- 休館日は29年10月から、月曜日から火曜日に変更になります。

本会議での主な質疑

問 指定管理方式にする背景と根拠を伺う。

答 開館から1年が経過し、新しい建物やテナント管理業務など初期の不安要素の解消にめどがあった。また、さらに売り上げの向上を目指すため、民間事業者のアイデア等を活用した運営が必要と判断し、指定管理者制度への移行を進めたい。

問 指定管理者に移行了した場合、災害時の施設管理や利用者等の安全管理について、指定管理者の責任はどうなるのか。

答 指定管理者の募集要項の中で、災害時等の危機管理や安全管理の徹底を義務づける。具体的には、緊急時の対応マニュアルを作成し、来館者の避難誘導を指定管理者に行ってもらおう。

問 休館日を変更する理由は。

答 日曜日の翌日が休館だと在庫を多く持てず品切れになることがあり、お客様の要望に応えられないことがある。このため休館日を火曜日に変更したい。



渚の交流館と津波避難タワー

財産の取得について

全会一致で
可決

災害対応特殊救急自動車2台を取得するため、入札を行った結果、静岡トヨタ自動車株式会社磐田店が落札し、税込み4190万4千円で購入します。

概要

本会議での主な質疑

● 消防署福田分遣所及び豊田分遣所に配備している救急車2台を更新して、災害対応特殊救急自動車2台を取得します。更新車両は、高度救命処置用資機材を積載する高規格仕様となっています。また、緊急消防援助隊の救急小隊に登録する予定であり、大規模災害時など国からの要請に基づき、他県へ派遣する車両となります。

問 現在配備している救急車の状況は。また、更新車両に搭載する資機材の入札価格と資機材の中で新しく搭載するものはあるか伺う。

答 福田分遣所の救急車は、29年度で8年目、走行距離は18万キロメートルを超え、豊田分遣所の救急車は10年目、走行距離は22万キロメートルを超えている。資機材の入札価格は、2台分で税込み1723万6800円となる。今回の更新車両に新たに搭載する資機材は、交通事故、転落事故等に対応する骨盤固定具である。そのほかは、従来の救急資機材と変更はない。



救急車



車内の様子

一 般 質 問 要 旨

一般質問とは？

個々の議員が、市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。
6月定例会では15人の議員が一般質問を行いました。
発言した順番で主な内容をお知らせします。

一般質問の様子は、インターネットで録画配信しています。

[磐田市議会](#) [配信](#)

クリック

[検索](#)

暮らしやすい磐田市になるために 一人一人が輝く教育の充実について

一 括
質 問



社民・明るい暮らしの会 川崎和子議員

暮らしやすい磐田

問 磐田市政において最も今課題と感ずること、また、市長が描く市の未来像、それに伴う重要施策について伺う。

答 今後、少子高齢化に伴う地域のコミュニティ機能の低下など、大きな影響が懸念される。より暮らしやすい磐田市を目指し、第2次磐田市総合計画の推進を図りながら、
①安全・安心・防災・減災②地域づくり・人づくり③子育て・教育④医療・福祉・支えあい⑤経済・産業⑥行財政改革の6つを大きな柱として取り組みを進める。

学習障害への取り組み

問 LD教室の課題と今後の方向性について伺う。

答 県に中学校のLD等通級指導教室の設置を要望しているが、市でも検討していきたい。あわせて、小学校の待機児童が増えたことから30年度に向けて小学校の通級指導教室の増設も要望していく。

問 合理的配慮への取り組み

について伺う。

答 学習障害に対する合理的配慮とは、その子の特性にあった、より適した支援をすることと捉えている。保護者と合意形成を図りながら特性にあった配慮をしていきたい。

問 支援員の現状と合理的配慮に基づいた研修等について伺う。

答 小学校に64人、中学校に23人の支援員を配置している。研修は、年3回の教育支援員研修の中で実施している。



問 保護者への理解と今後の対応について伺う。

答 子どもの特性などについて、保護者と情報を共有し、早期支援につなげることが大切である。保護者の孤立感を解消できるような形で対応をしていきたい。

地域活性化 福祉の充実と健康づくりの推進

一 問
質 問

志政会 秋 山 勝 則 議員



地域活性化

問 新東名スマートインターチェンジ設置後のまちづくりや産業ビジョンを伺う。

答 北部地域では光ファイバー網の整備をはじめ、新東名（仮称）新磐田スマートインターチェンジ等、産業育成の環境整備が進んでいる。またトレッキングコースの活用やエビ芋等の生産に加え、次世代型農業立地に向けた取り組みも進んでいる。今後も企業や市民への支援を通じて、活力のあふれる地域づくりを目指したい。

問 地域づくり協議会の最終的なイメージと29年度の取り組みについて伺う。

答 地域みずからが課題を捉えて自主的な運営を目指すことと、より多くの人たちが地域活動にかかわる体制を構築し、持続可能な地域活動を促進することを目指している。29年度は、総会や会計の一本化を支援し、まずは協議会役員に地域活動全体を把握してもらうことから取り組みたい。

福祉の充実と健康づくり

問 地域包括ケアシステムの体制強化等、後方支援を行う基幹型センター等の設置の見解と今後の各地域包括支援センターのサポートを伺う。

答 現在、市が基幹的機能としてセンターへの後方支援を行っているため、現時点では設置は考えていない。今後のサポートは、在宅医療介護連携や認知症施策の推進等、地域包括ケアシステム構築のため、関係機関の連携体制構築と効果的・効率的に事業が進められるよう支援していく。



問 デマンド型乗合タクシーの各路線の利用者の声を伺う。

答 予約受付時間の短縮や目的地の追加、運行日及び便数の追加を求める声があった。

「住みたいまち磐田」のために

一 問
一 答

公明党磐田 江 塚 学 議員



問 津波避難タワーの今後の建設予定を伺う。

答 今後、新たに津波避難タワーの建設予定はないが、津波避難の安全性をより向上させていくため、民間施設との協定を進めていく。



津波避難タワー

問 災害用ドローンについて導入を計画する場合、災害時以外の用途を伺う。

答 ドローンは災害時の被害状況の情報収集などにおいて活用が期待できるほか、平常時、施設点検など、さまざまな場面で有効であるが専門的な操作技術を有する人材の確保などに課題があるため、引き続き導入を検討していく。

問 児童発達支援・就労支援一体型施設のさらなる活用と拡大について伺う。

答 就労支援施設や関係機関

と連携をしながら、就労支援体制の強化を図り、障がい者の一般就労を含めた自立を支援していきたい。

問 放課後児童クラブの利用条件の緩和について伺う。

答 29年度から入所基準における同居祖父母の年齢要件を75歳未満から70歳未満へ引き下げを行っている。窓口では、各家庭の事情を聞きながら丁寧な対応に努めている。

問 子どもの貧困の現状と支援制度を伺う。

答 29年度、子育て世帯の生活実態調査を行い、状況を把握していく。支援は、ひとり親家庭への経済的支援をはじめ、就労支援等を行っている。

問 通学路対策推進会議の29年度の計画について伺う。

答 27年9月に県と各市の道路管理者等が連携し、静岡県通学路対策推進会議が設置された。会議での取り組み方針に基づき、9月ごろに合同点検を実施し、対策を検討して通学路の安全確保に努める。

若者無業者への就労支援対応 地域交流センターに「福祉お困りごと相談窓口」の開設

一 括
質 問



志政会 絹 村 和 弘 議員

若者就労支援対応

問 生活困窮者への相談・支援事業の利用状況、ひきこもりの状況と対応を伺う。

答 新規相談件数は、27年度が339件、28年度が313件で、複合的な課題があるケースが多い状況である。就労準備支援センターは、28年度で20名中7名が就労している。ひきこもり者へは信頼構築からはじめ、コミュニケーション能力の向上等の伴走支援を行っている。

問 27年国勢調査就業状態等基本集計から推定する本市の若年無業者数は、近隣市を上回る状況である。市の見解は。

答 ニート等の就労に悩む若者の実数を正確に把握することとは困難である。本市の非労働力人口割合は近隣市と比べ下回っており、若年無業者の割合が特に高い認識はないが、危惧される社会状況下にあることの危機感を持っている。

問 若年無業者支援対策として地域若者サポートステーションの設置等を検討・研究の

政策テーマに加えることについて、見解は。

答 自立相談支援窓口の職員等が関係機関と連携してニート等の若者の対応をしているため、地域若者サポートステーション等の設置は今のところ考えていない。より効果的な支援体制づくりのため、今後も調査・研究をしていく。

福祉お困りごと相談窓口

問 地域交流センターに、福祉に関する相談について有償のボランティアを配置し、困りごとを何でも相談できる窓口を設置する考えは。

答 福祉に限らず地域活動における相談は交流センター職員が担っているため、現時点では相談窓口にはボランティアを設置する考えはない。



旧豊岡東小学校の施設活用／新東名磐田スマートICの新計画に対応した周辺整備 有害鳥獣の駆除／一雲済川及び上野部川の現状

一 括
質 問



きずなの会 鈴木 正 人 議員

旧豊岡東小学校

問 旧豊岡東小学校を北のにぎわいの拠点として、多くの市民が集える施設に整備できないか。

答 旧豊岡東小学校の周辺は、緑豊かな自然環境に囲まれた地域であることから、例えば子どもたちの野外活動やスポーツ体験が行える場所として、地域のにぎわいが創出できる活用方法を検討したい。

新東名磐田スマートIC

問 新東名磐田スマートインターチェンジの開通に伴い、新平山工業団地への通勤車両や大型車両の通過に加え、インターチェンジの利用車両が加わり交通集中が心配される。新平山工業団地内の交通安全施設整備が必要と考えるが、市の取り組みを伺う。

答 安全対策は公安委員会と協議を行い、路面表示など必要な対策を講じていく。

有害鳥獣の駆除

問 有害鳥獣の捕獲業務を猟

友会に委託しているが、会員の高齢化に伴う会員減少にどう対処するか。

答 猟友会磐田分会の会員数は69名、平均年齢は65歳である。会員の確保は厳しいが、役員の地道な活動により28年比6名の増となった。有害鳥獣駆除には猟友会の協力が不可欠のため、この問題を市も主体的に捉えて、有害鳥獣駆除従事会員確保委託料を交付している。

一雲済川及び上野部川

問 一雲済川及び上野部川の今後の改修工事計画を伺う。

答 一雲済川は、29年度から30年度の2力年で新川橋から掛下橋までの川底を掘削し、上野部川は、29年度に久保前橋から本村上橋の間で護岸整備工事を実施する、と管理者の県から説明を受けている。



スマートIC (工事中)

人口の変化と対応策 市民に伝える、市民の声を聴く取り組み

一 括
質 問

志政会 草地博昭議員



人口の変化と対応策

問 保育園、幼稚園の第2子・第3子の保育料軽減の方向性を伺う。

答 保育料は、国基準以下の料金設定であることや、保育枠拡大を優先したいこと等から、現時点では保育料軽減をさらに拡大する考えはない。

問 保育園の待機児童の現状と対応策を伺う。

答 4月1日現在の待機児童数は3年連続でゼロだが、年度末に向けゼロ歳から2歳児の待機児童が増える傾向にある。対策は、認定こども園化や地域型保育事業を推進し、保育定員拡大に取り組みたい。

問 出生数向上のための体制や必要な施策、課題を伺う。

答 少子化は経済的負担も含めてさまざまな課題が複雑に絡み合い、一朝一夕に成果が出るものではない。ハード・ソフト両面から多種多様な取り組みを着実に進め、市民が安心して働き、暮らせることができる環境づくりにつながる。

問 シニア世代の生きがいづくりとして、地域やNPOと連携したシニアや子育て世代を支える仕組みづくりを伺う。

答 地域づくり協議会の団体間の横断的な連携やボランティア人材バンクの活用等を通じて一層の連携が図られ、支えあい活動が活性化するように支援したい。

市民の声を聴く取り組み

問 市民が主体的に政策形成にかかわることができるとの仕組みと課題を伺う。

答 審議会委員の公募や市の計画等に対するパブリックコメントの募集等を実施している。全般的に寄せられる意見が少ないのが課題であり、情報発信力の強化が重要であると考えている。



教育と子育ての諸課題 市民の安全・安心／健康づくり

一 問
一 答

日本共産党磐田市議団 高梨俊弘議員



教育と子育ての諸課題

問 磐田市での教職員の多忙化に対する調査の現状は。

答 市内の全小中学校の教職員の状況把握のため、タイムカードで80時間以上の超過勤務時間の有無やその原因、医師の診断の必要性などを調べている。課題には、個別の聞き取りで解決を図っている。

問 学校のトイレの洋式化を進めるべきかと考える。現状と課題は。

答 洋式化は29年3月末現在、小中学校全体の整備率が29%で、各トイレに1基の設置を目指している。和式よりもスペースが必要で、トイレの数が減少するなど課題がある。

問 JRの特定者用の通勤定期乗車券の利用状況と周知方法の改善策は。

答 28年度の利用者は2名。ひとり親家庭への支援策として、今後ホームページへの掲載や児童扶養手当申請の案内などにより周知を図る。

市民の安全・安心

問 天竜川上流の長野県宮田村に、放射能汚染された8千ベクレルまでの廃棄物最終処分場計画がある。計画に対する認識、対応は。

答 計画は、公開されている報道等の範囲で把握している。法令遵守と地域の合意形成が最も大切だと認識し、地元自治体や住民の思いを受けとめ、尊重したいと考える。

健康づくり

問 健康寿命日本一の磐田を目指し、施策の充実を図るべきかと考える。見解は。

答 27年度から保健師を地区担当制にし、妊娠出産から高齢期までの健康づくり支援と、健康寿命延伸を目指した住民主体の介護予防事業を推進している。今後も地域特性に応じた事業を実施していく。





志政会 小 池 和 広 議員

防災体制

問 東日本大震災以後、本市において防災組織がどのように変更されたのか伺う。

答 23年度に自治防災課内に危機管理室を設置し、危機管理監を配置。24年度に防災センターを建設。25年度に職員参集基準を見直し、配備体制を明確化し初動体制を強化。27年度に災害本部体制の迅速化等のため県職員を招き、運営支援を受けた。29年度は防災戦略監を配置し危機管理体制の強化を図る。

海岸防潮堤

問 海岸防潮堤の進捗状況と今後の計画、工期を早めるための必要な取り組みを伺う。

答 海岸防潮堤の総延長11キロメートルのうち、28年度末までに358メートルが完成し、29年度は太田川右岸工区で35メートル、竜洋海洋公園工区で113メートル、海岸防災林工区で220メートルの工事を行う。今後の計画は、太田川右岸工区262メートル



防潮堤工事（防災林区域）

が29年度に完成し、竜洋海洋公園工区1・6キロメートルは31年度末の完成を目標に進めている。海岸防災林工区は30年度以降、福田地内の整備を進めていく。また、工期を早めるための取り組みは、民間開発や公共工事での土砂等を活用し、複数を同時に施工し、迅速化を図りたい。

問 本市と同様に静岡モデルとして取り組む中東遠のほかの地域との相違点を伺う。

答 本市の整備延長11キロメートルに対し、袋井市5・4キロメートル、掛川市9・7キロメートルと整備延長が異なること、また保安林の枯損区域の割合は、本市が37パーセントに対し、袋井市75パーセント、掛川市87パーセントが枯れという状況である。

子どもたちの安全・安心対策／放課後児童クラブ体制と育成
磐田スポーツ部活及び中学校の部活動推進



志政会 鳥 居 節 夫 議員

安全・安心対策

問 防犯カメラの通学路への設置予定を伺う。

答 通学路に限定せず、警察と協議し、長期間にわたり犯罪抑止効果が高い場所を選定していきたい。

放課後児童クラブ

問 放課後児童クラブの教室確保に対する現在の取り組みと今後の課題について伺う。

答 利用状況は待機児童ゼロを維持している。しかし、長期休業期間である夏休みは利用児童数が増加するため、期間中に利用可能な教室等を確保し、臨時にクラブを増設する準備を進めている。

問 長期休業期間の支援員の確保について伺う。

答 ハローワークや民間広告への求人募集に加え、各学校の教育支援員を児童クラブの補助員として募集し、確保に努めている。

問 支援員の労働負担の軽減対策について伺う。

答 特別な支援を要する児童

がいるクラブには支援員を多く配置している。また、報告書の内容を簡略化するなど事務の効率化を図っている。



放課後児童クラブ

磐田スポーツ部活・中学校部活動推進

問 磐田スポーツ部活への女子サッカー導入の展望は。

答 種目を拡大する場合、指導者や練習場所への移動手段の確保、大会出場資格を満たすための条件整備が必要である。女子サッカーも含め、課題を解決することができると検討していきたい。

問 中学の部活動への外部指導者の人材確保について伺う。

答 現在、市内全ての中学校において人材確保がされつつある。今後も県のスポーツ人材バンクや大学生等による部活動支援ボランティア事業と連携し人材確保に努めていく。

新磐田市文化会館建設 交流人口拡大と移住・定住対策

一 括
質 問

志政会 高 田 正 人 議員



新磐田市文化会館建設

問 新磐田市文化会館建設に向けた市長の想いを伺う。

答 建設検討委員会で議会や自治会連合会等さまざまな分野から委員を選任し協議を重ね、丁寧に議論を進めてきた。今後も設計や建設の状況をお知らせし、市民が利用しやすい、市のシンボルとなる市民文化会館の建設を進めていきたい。

問 アミューズ豊田周辺のまちづくりのイメージは。

答 新文化会館を核にして、アミューズ豊田や（仮称）子ども図書館、新造形創造館が連携し、文化ゾーンを形成することで、多くの市民の多様な利用が期待できると考える。

問 現市民文化会館周辺の今後のまちづくりのイメージは。

答 展示施設や会議室等の文化振興センター機能の一部を残し、今之浦市有地を含めて新たなにぎわいの創出につながる利用を検討したい。

交流人口拡大・移住定住

問 道の駅設置により交流人口拡大や地域活性化が図られると考える。見解は。

答 道の駅を新たに設置する考えはないが、民間事業者から設置の相談等があれば支援策を考えたい。

問 県移住相談センターを活用したPRの成果と課題は。

答 27・28年度に子育てをテーマとしたセミナーを開催し、首都圏で情報発信した。今後も首都圏での情報発信拠点として、ニーズの把握の場として十分に活用したい。

問 地域おこし協力隊の活用が、過疎地域の活性化につながると思う。見解は。

答 各地域では多くの協力隊が活躍しているが課題もあるため、まずは受入目的や活動内容等を研究したい。



県移住相談センターでのセミナーの様子

磐田北小学校戦災被爆者慰霊祭の継続について 高齢者世帯と一人暮らし高齢者の支援について

一 括
質 問

社民・明るい暮らしの会 虫 生 時 彦 議員



慰霊祭の継続

問 磐田北小学校戦災被爆者慰霊祭の継続について伺う。

答 遺族会の方々の高齢化に伴い、慰霊祭への参加が年々難しくなってきたと伺っている。学校としては今後ともPTAが主となって継続していく考えである。開催方法等についても遺族会の方々と相談しながら無理のない形で継続できるよう検討していく。教育委員会としても学校からの相談に乗りつつ、平和学習の一つとして継続していくよう見守っていく。



慰霊祭の様子

高齢者支援

問 一人暮らし高齢者や高齢者世帯に貸与している緊急通報システムの無料化について

伺う。

答 利用者負担額は、所得税非課税世帯は月額540円、課税世帯は864円となっている。一定の利用者負担は必要と考えており、無料化は現時点では考えていない。

問 地域包括支援センターと医療機関や介護サービス事業者との情報共有・連携について伺う。

答 地域包括支援センターのエリアごとに、医療や介護関係者が参加するネットワーク会議を開催し、相互の役割を理解しながら連携強化を図っている。また、個別のケースに応じて適宜、医療機関や介護事業者と連携も図っている。

問 救急医療情報キット設置の効果、利用状況は。

答 23年度から地区社協や民生委員等を中心に、高齢者世帯などに配布し、記載内容の確認などを実施していただいている。これまでに、救急搬送時に70件の利用があり、病歴や緊急連絡先の把握に活用され、効果があるものと認識している。

磐田市民文化会館の移転について 農業振興について／環境問題について

一 括
一 問
一 答



きずなの会 戸塚 邦彦 議員

市民文化会館移転

問 市民文化会館の移転における非公開の建設検討委員会の件を踏まえ、今後の公共施設整備について、住民へのコセンサスの取り方を伺う。

答 建設検討委員会にて市民の意見は反映できている認識である。今後わかりやすい情報提供に努め、市民と情報共有を図りながら進めたい。

問 跡地利用構想を作成する方針を明らかにしたが、進捗状況や公表方法、時期を伺う。

答 29年度に副市長・部長等の7名で組織する跡地利用検討委員会を立ち上げ、検討している。方針が固まれば、ホームページや広報紙などで告知し、意見を求めていきたい。

農業振興

問 企業用地と農用地との利用調整の考え方を伺う。また、産地パワーアップ事業の支援について伺う。

答 企業に対し、市街化区域内の用地や都市計画マスタープランで産業拠点に位置づけ

られた農用地以外の地域への立地を誘導している。産地パワーアップ事業については制度のPRを行い、やる気のある農業者を支援していきたい。

問 農地集積の進捗状況と、権利関係が不明確な農地はどのくらいあるか伺う。

答 現在約300ヘクタールの農地を集積しており、29年度は磐田原台地の茶園集積などに取り組む。相続未登記農地は355ヘクタールを確認している。

環境問題

問 磐田市環境基本計画について、次期計画作成にあたり、国・県の計画との連携と整合性を伺う。

答 国と県の基本的な理念は共通している。本市においても、連携と整合を図る必要があると考えている。



中心市街地活性化について 磐田市の諸課題について

一 問
一 答



志政会 岡 實 議員

中心市街地活性化

問 磐田駅周辺まちづくり事業の検証は。

答 ハード事業については、都市施設整備事業評価委員会による検証で、都市基盤の整備により住宅地の需要が伸び、中心市街地の人口減少が抑制されていることや老朽家屋の減少や狭小道路の交通基盤の整備により安全・安心なまちが形成されていることが評価された。ソフト事業については、磐田駅北口広場でのイベント、ジュビロード夏祭り、軽トラ市などを地元商店主らが中心となって開催し、にぎわいの創出には一定の効果が得られた。課題は、効果が一過性であることである。空き店舗対策は、閉店後も住居として使用されている物件もあり、貸し物件は少ない状況にある。今後は、旧都市整備課跡地への出店支援、遊休不動産の利活用についても取り組んでいきたい。検証結果は、29年中に市ホームページで公表していく。

諸課題

問 総務省のふるさと納税返礼品に関する通知への対応は。

答 国から新たにふるさと納税のあり方が示されたものと認識し、今後通知の趣旨を尊重し、見直しを検討していくが、作業には関係事業者との調整等も必要となり、時間を要すると考える。

問 ふるさと納税の28年度の実績と評価は。

答 津波対策事業基金5億円、しっぺいこども基金3億6千万円、磐田新駅設置事業基金3千万円など、全体では10億円を超える。特産品など魅力ある返礼品を全国に発信し、本市を知るきっかけとなり、産業振興に加え、多くの事業の推進に役立っている。



ふるさと納税

防潮堤整備 地域づくり交流センター

一 括
一 質 問

きずなの会 小 栗 宏 之 議員



防潮堤整備

問 完成した防潮堤、のり面の維持管理方法と経費は。

答 海岸防災林工区は保安林区と太田川右岸工区は市が管理する。市の管理区域は、のり面を植樹や張り芝により保護していく。今後は樹木管理などの経費が必要になる。

問 松枯れしていない防災林区域の防潮堤整備の進め方は。

答 森林法により整備できない状況であり、県と静岡モデル推進検討会において、整備手法を含め、知恵を出し合いながら検討していきたい。



防潮堤

問 津波の河川遡上に対する河川堤防のかさ上げ等について、市としての取り組みは。堤防のかさ上げ対策は河

川管理者が実施することから、今後も引き続き国や県へ津波対策や耐震強化工事等を要望していきたい。

地域づくり交流センター

問 交流センター設置数はどのような基準で定めているか。

答 交流センターの設置基準は、人口、世帯数、学区などが目安となるが、地区活動の状況などを勘案して、地区の意見を聞く中で、現在の配置となっている。しかし、現在の配置で充足しているとは考えておらず、見付や中泉、竜洋地区など、7千世帯以上で交流センターが一つの地域があることも課題としている。

問 新規の交流センター建設計画や建設を検討している地域はあるか。

答 現時点では、新規の交流センターの建設計画や検討している地域はない。地域づくり協議会の活動が活発となり、新たな協議会を設置する必要性が生じた際には、地域の意向をよく踏まえた上で、新設を検討することもある。

浜岡原発の諸問題 磐田市の諸課題

一 問
一 答

日本共産党磐田市議団 根 津 康 広 議員



浜岡原発の諸問題

問 新聞アンケートでは、浜岡原発再稼働の是非を問う質問で磐田市は認めない、同意の範囲は国が判断すべきと回答している。具体的に説明を。

答 市民の安全・安心が担保されない限り再稼働は認められない。同意の範囲は、国が要請してとめた原発であるため、国が福島事故を検証し、市民の安全・安心の確保を前提に判断すべきである。

問 市民意識調査を実施して、市民の動向を把握すべきと考える。見解は。

答 再稼働は国が判断すべきであり、現時点では市民意識調査を実施する考えはない。

問 指定避難所の安全性や収容力をどう確保し、複合災害時の津波浸水域避難者の対応をどう検討したか伺う。

答 被爆低減のため放射線を遮蔽する安全な建物へ避難することが重要である。避難所の収容力や地震・津波との複合災害時の避難方法は大きな課題の一つと認識している。

市の諸課題

問 運転免許証を自主返納した高齢者に対し、運転経歴証明書の手数料全額助成やバス回数券、タクシー利用券の支給等の支援事業を拡充すべきと考える。見解は。

答 デマンド型乗合タクシーでは、29年4月から運転免許証の自主返納者への割引を始めた。まずは新制度を周知し、利用状況を検証したい。



問 就学援助の入学準備金の支給は入学前でも可能となり、本市も3月に前倒して支給すべきと考える。見解は。

答 入学準備金の前倒し支給は、入学前の申請の取りまつの方法や支給後に転出した場合の対応等の課題もあるため、今後調査研究していく。

5 / 30・31 1期議員を対象とした 市内施設等の視察

磐田市議会議員選挙にて当選された議員のうち、1期議員を対象に、議員としての見識の向上のため、津波避難タワー、クリーンセンター、新東名（仮称）新磐田スマートインターチェンジ予定地等、市内施設の視察を行いました。



7 / 20 ～ようこそ磐田市へ～ 行政視察受け入れ

京都府城陽市議会が、本市議会の広報広聴の取り組みについて視察に訪れました。視察では議会だより「いわた羅針盤」の刷新について、これまでの経緯を説明するとともに、質疑応答や意見交換を行いました。



7 / 24・25 議会運営委員会視察 ～東京都立川市・埼玉県所沢市へ～

議会運営委員会は、議会改革・活性化への取り組みを推進するため、東京都立川市及び埼玉県所沢市へ行政視察を行いました。視察先では、タブレット端末導入による議会運営効率化への取り組み事例などの説明を受け、質疑応答や意見交換を行いました。



7 / 27 広報広聴委員会視察 ～滋賀県彦根市へ～

広報広聴委員会は、今後の議会報告会のあり方を検討するため、滋賀県彦根市へ行政視察を行いました。

視察先では先進的な取り組みを調査・研究するとともに活発な意見交換を実施しました。



7 / 30・31 友好都市駒ヶ根市へ ～友好都市提携50周年を迎えました～

市議会は友好都市提携をしている長野県駒ヶ根市を訪問しました。駒ヶ根市と友好都市提携をしてから今年で50周年を迎えました。

市議会は記念式典に参加したほか、両市における主要事業の情報交換や施設見学等を通じて相互理解を深めました。今後も一層の友好交流を推進します。



議会報告会を開催します

市民に開かれた議会をめざし、議会報告会を開催します。どの会場にもご参加いただけますので、どうぞお気軽にお越しください。



開催日 平成29年11月4日 (土)

報告テーマ	担当委員会	会場	時間
1 議会報告 ①民生教育分野の決算報告 ②子育て支援について ③高齢化社会への対応について 2 意見交換	民生教育	豊岡支所 第1会議室 (下野部48番地)	10:00~11:30
1 議会報告 ①総務分野の決算報告 ②地域コミュニティについて ③防災対策について 2 意見交換	総務	竜洋交流センター 第1・2会議室 (岡783番地1)	14:00~15:30
1 議会報告 ①建設産業分野の決算報告 ②(仮称)新磐田スマートインターチェンジの設置について ③(仮)磐田新駅の設置について 2 意見交換	建設産業	iプラザ(総合福祉会館) ふれあい交流室1・2 (国府台57番地7)	19:00~20:30

議会を傍聴しませんか

本会議・委員会は当日の受付で傍聴できます。5階の議会事務局までお越しください。議会を身近に知るためにも傍聴されてみてはいかがでしょうか。



議会をインターネットで見ることができます

インターネットを通じて、本会議、予算決算委員会の模様を生中継・録画配信しています。パソコンで視聴できますので、ご利用ください。



磐田市議会 配信 検索

整音器お貸しします

議会を傍聴するため、整音器の貸し出しを実施しております。

整音器の利用をご希望の方は、傍聴の受付をする際に議会事務局まで申し出てください。



議会フェイスブックで情報をお届けします

市議会をより身近に感じていただくため、フェイスブックページで議会情報をお届けしています。

ぜひ、アクセスしてください。



<http://www.facebook.com/iwata.gikai>

審議結果

■全会一致により可決・同意された議案

- | | |
|--|---|
| (1) 29年度一般会計補正予算（第1号） | (8) 消防団員等公務災害補償条例の一部改正 |
| (2) 29年度卓球場・アーチェリー場建設工事（建築）
請負契約の締結 | (9) 財産の取得 |
| (3) 職員退職手当支給条例の一部改正 | (10) 磐南浄化センター耐震補強及び機械・電気設備長
寿命化更新工事委託に関する協定の締結 |
| (4) 豊岡総合センター条例の一部改正 | (11) 農業委員会の委員任命の同意 |
| (5) 地域包括支援センターの運営及び職員の基準を定
める条例の一部改正 | (12) 新東名高速道路（仮称）新磐田スマートインター
チェンジ工事委託に関する協定の締結 |
| (6) 子どものための教育・保育給付に係る利用者負担
額を定める条例の一部改正 | (13) 副市長選任の同意 |
| (7) 渚の交流館条例の一部改正 | (14) 固定資産評価員選任の同意 |
| | (15) 人権擁護委員の候補者推薦の意見 |

■意見の分かれた請願

会派名	志政会	新磐田	きずなの会	日本共産党 磐田市議団 2人	社民・明るい 暮らしの会 2人	公明党 磐田 2人	結果
件名	12人（※）	4人	4人	2人	2人	2人	
浜岡原子力発電所の 再稼働を認めないよ う求める請願	×	×	×	○	○	×	不採択

※志政会の会派人数は12人ですが、採決は増田暢之議長を除いた11人で行います。

○：採択 ×：不採択

■本会議で行われた選挙

- (1) 静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙

■その他

- (1) 閉会中の継続調査

※調査事項

総務委員会：①防災対策について ②地域コミュニティについて

民生教育委員会：①地域包括ケアシステムについて ②子どもの貧困対策について ③子ども・若者育成支援について

④国分寺跡の整備について ⑤小中一貫教育について

建設産業委員会：①ゴミ処理施設の諸課題について ②産業振興について ③中心市街地活性化について

- (2) 市議会議員の派遣

9月定例会の予定

(9月8日～10月11日)

日	月	火	水	木	金	土
9/3	4	5	6	7	8	9
					本会議 (議案上程)	
10	11	12	13	14	15	16
	本会議 (議案上程)					
17	18	19	20	21	22	23
			本会議 (一般質問)		本会議 (議案質疑)	
24	25	26	27	28	29	30
	本会議 (議案質疑)	予算決算委員会分科会（審査） 常任委員会（審査）				
10/1	2	3	4	5	6	7
			予算決算委員会 (採決)			
8	9	10	11	12	13	14
			本会議 (採決)			

※いずれも午前10時から

日程は変更する場合があります。一般質問を行う議員の順番や内容につきましては9月15日（金）にホームページ上で公開を予定しております。また、聴覚障がい者の皆さまの議会傍聴のため、手話通訳者や要約筆記者の派遣等を行っています。ご希望の方は、事前に議会事務局（電話0538-37-4822、ファックス0538-37-4845）までお問い合わせください。

議会にご意見をお寄せください

市民の皆様の声をお聞きするため、「ご意見ポスト」を本庁舎1階と5階に設置しています。市議会へのご意見・ご要望をお寄せください。



今回の特集「学生から見た議会」、いかがでしたか？自分が学生だったころと比較にならないほど、社会との関係を意識して生活していることに驚きました。これからも社会の動きに対応した情報提供に心がけ、わかりやすい言葉で議会の動きを伝えていきます。また皆様からのご意見もお寄せください。双方向の議会だよりにしていきたいと思っております。

一緒に磐田市の未来について考えてみませんか？（芥川栄人）

【広報広聴委員会】

- 委員長：芥川栄人 ■副委員長：根津康広
■委員：江塚学、小池和広、鈴木正人、草地博昭、川崎和子